

2017年7月13日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスココインの追加発行をロック、フィスコ仮想通貨取引所でも取扱開始へ ～ダイリューション(希薄化)を防いで用途を拡充し、価値の安定・向上を図る～

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)は、2016年10月および2017年5月の2回に分けて一部株主に対して配布した、ブロックチェーン技術を活用したトークン※「フィスココイン(単位:FSCC)」の追加発行をロックしましたので、お知らせします。

現状ではフィスココインは5000万枚が発行されておりますので、追加発行をロックしたということは、フィスココインが5000万枚以上増えることがないことを意味します。なお、安定保有者の保有数を除いた市場流通枚数は約1,100万枚と想定されます。

※「トークン」とは、ビットコインの基幹技術にも用いられるブロックチェーン技術を用いた分散型台帳上の記録です。トークンの一種であるフィスココインは、ブロックチェーン上にその総量、各人の保有比率、譲渡などの履歴情報がすべて記録管理されています。つまり、フィスココインの追加発行がロックされたことは、ブロックチェーン上の記録に残っており、今後将来にわたってフィスココインが追加発行されないことがブロックチェーンで保証されていることを意味します。追加発行をロックしたことにより、今後はフィスココインのダイリューション(単位当たり価値の希薄化)が起こらなくなります。フィスココインのダイリューションがなくなったことにより、フィスココインの市場価格の安定・向上が期待できます。

また、フィスココインと交換できる財・サービスとして、現在はフィスコの会員制サイト「クラブフィスコ」においてフィスココイン専用レポートのみとなっておりますが、今後、フィスコグループでは、フィスココインと交換できる財・サービスの種類を拡充することを予定しております。具体的には、フィスココインと財・サービスを交換できるポータルサイトを構築する予定です。

さらに、2016年10月24日に開示しましたとおり、フィスコの資本・業務提携先であるテックビューロ株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:朝山貴生、以下「テックビューロ」)が運営する仮想通貨取引所「Zaif(ザイフ)」において、フィスココインの取り扱いが開始されておりますが、フィスココインの追加発行をロックしたことに伴い、フィスコのグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:東京都港区、代表取締役:越智直樹)が運営する仮想通貨取引所(<http://fcce.jp/>)においても、近日中にフィスココインを取り扱う予定です。

これらにより、フィスコグループでは、フィスココインの価値の安定と向上を図ることによって、フィスココインのエコシステムをより強固なものにしてまいります。今後のフィスコグループのトークンを含む仮想通貨ビジネスの進展にご期待ください。



News Release

【株式会社フィスコ】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 1995 年 5 月 15 日
資本金： 1,242 百万円(2016 年 12 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社フィスコ仮想通貨取引所】

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所 <http://corp.fcce.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 2016 年 4 月 12 日
資本金： 112 百万円(2016 年 12 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役 越智 直樹
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した金融派生商品の開発・運用、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの開発・販売およびコンサルティング、その他の仮想通貨の一般サービス

以上